

# 高橋道政支持率の構造と背景

## 高橋知事と上田市長の比較分析―世論調査結果から

僧  
都  
儀  
尚

### はじめに―分析の視座

これまで国政選挙の分析を行ったことはありませんが、道政など地方政治については世論調査を含めやったことがなく研究会では、どう分析して報告すべきか悩みました。

国政選挙を分析する場合、例えば民主党の傾向や特徴をつかむには、自民党、新党大地といった政党と比較して特徴を浮き彫りにしてきました。では、高橋はるみ知事、高橋道政をどのように分析するか。同時期に選挙に初出馬し、同じように混戦を制し、支持母体は違いますが共に現在三期目の上田文雄・札幌市長を比較対象にして、高橋知事の支持状況の特性を浮き彫りにできるとの仮説に立って分析することにしました。

分析のステップは、高橋知事と上田市長の共通点、傾向を探り、次に両者の相違点を洗い出し、高橋知事の特徴や強さの要因はなにか。さらに、高支持率の裏側には何があるのか考えてみます。

分析に用いたデータは、二〇〇三年以降、北海道新聞社が行った全道と札幌市の世論調査です。

### 1 高橋知事と上田市長の共通点

両者とも高い支持率の推移

「まあ良い」が支持の基盤に

支持状況の分析として、一つ目は、高橋知事と上田市長の共通点を考えてみます。

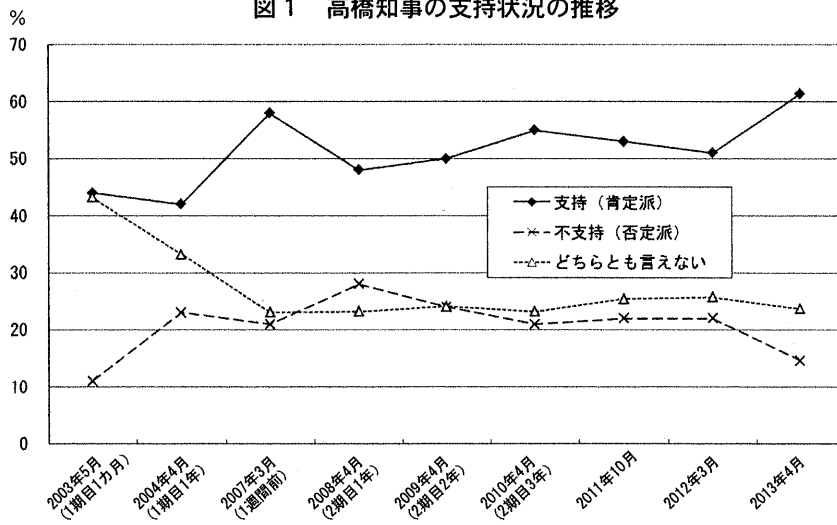
調査年次の飛んでいるところがあるので、本来ではあればグラフにしないのですが、分かりやすくするためにあえてしました。また、後でみる上田市長の調査年次も異なっているので、その点も留意してください。

高橋知事は比較的高い支持率で推移し、一二年から一三年にかけて急上昇しています。「不支持」と中間的な回答の「どちらとも言えない」は、比較的安定しています(図1)。

上田市長も高支持率で推移していますが、中間回答の「どちらとも言えない」は、一〇年、一三年と低下しているのに対し、不支持が増加傾向にあります(図2)。

二人とも支持は安定し、その割合はともに高く、

図1 高橋知事の支持状況の推移



近年は上昇傾向を示しています。

図2 上田市長の支持状況の推移

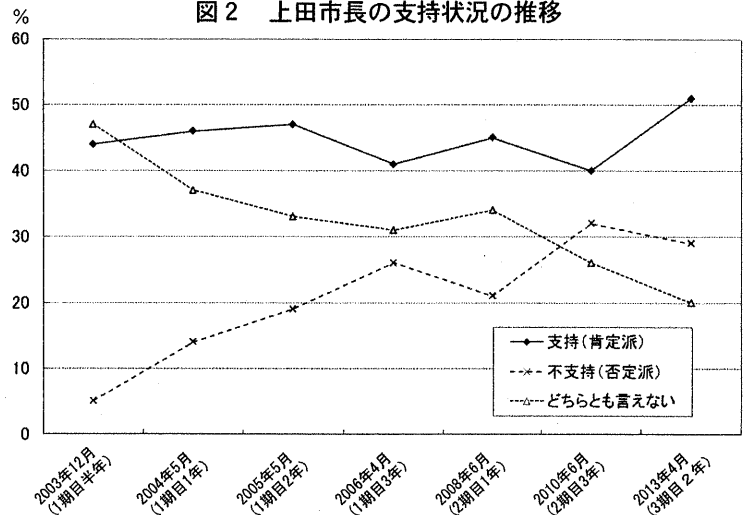


図3 高橋知事の支持状況の推移

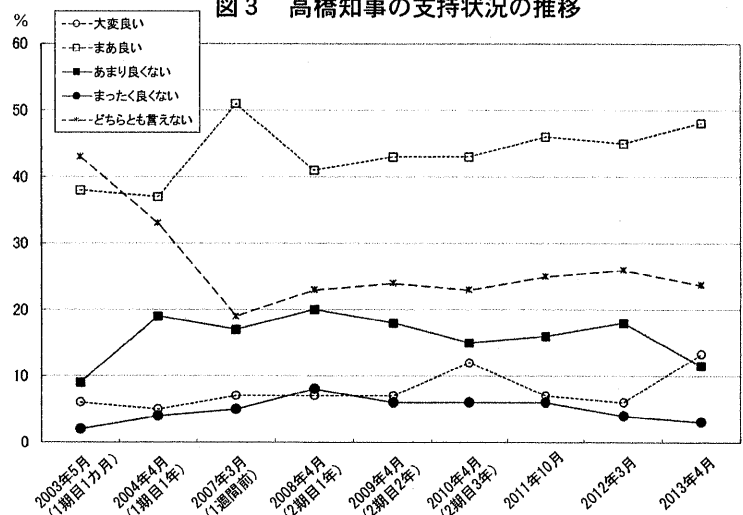
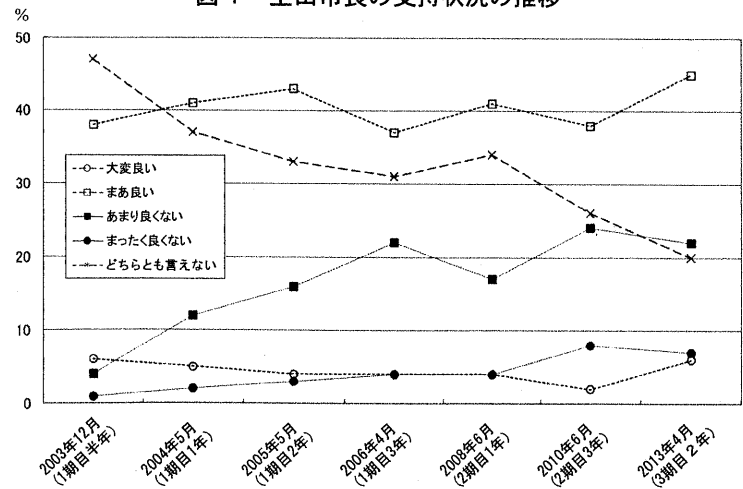


図4 上田市長の支持状況の推移



高橋知事の支持状況を詳しくみてみます。道新の調査は、「大変良い」「まあ良い」を合わせて△支持▽、「あまり良くない」「まったく良くない」を合わせて△不支持▽とし、そして「どちらとも言えない」の五択になっています。これが内閣支持率の調査だと、支持する、支持しないと選択肢は少ないのですが、一九九五年に就任した堀達也元知事の時からの五択を踏襲しています。

さて、高橋知事の支持は、「大変良い」の強い肯定と、「まったく良くない」の強い否定の割合は低く、「まあ良い」という中間的な意見が多い

のが特徴です(図3)。高支持率といわれながらも、まあまあ良いと思っているのが大半を占めている結果です。上田市長の支持状況の推移も全く同じ状況です。「まあ良い」の中間的な評価が多く、強い肯定の「大変良い」と、強い否定の「まったく良くない」は少ない(図4)。

さらに、自民党支持の高低と高橋知事の支持率とは関係があるのだろうか。例えば、〇七年に自民党支持は低下しましたが、知事の支持率は急上昇し、〇八年は自民党支持と知事の支持は同じように微減傾向を示しますが、その後の推移をみる

と、必ずしも明確な相関関係は見られません。同様に、上田市長の支持率と民主党支持率に明確な相関関係は見られず、一〇年以降、民主党支持は急減するのに上田市長の支持率は上昇しています。両者の支持は、政党支持とは相関関係がなく国政と連動していません。

支持と年代の顕著な相関関係  
各政党支持層へ広がる支持

高橋知事の年代別支持率の推移をみると、七〇